

アライアンス・バーンスタイン・
グローバル・グロース・オポチュニティーズ
(年2回決算型) / (予想分配金提示型)
追加型投信 / 内外 / 株式

愛称 **GGO**



特別レポート

地政学リスクの高まりで注目度が増すサステナブル投資テーマ
当ファンドの組入銘柄の投資魅力度は、足もとコロナショック時を上回る

<概要>

- 2022年年初来では株式市場調整の影響を受けるも、年2回決算型におけるESG部門での2つのアワード獲得が示すように、中長期では良好な運用実績
- 足もとの株価調整で組入銘柄の予想リターンが上昇し、投資魅力度はコロナショック時を上回る
- 足もと台頭した地政学リスクにより、“サステナブル投資テーマ”への注目度はさらに高まる



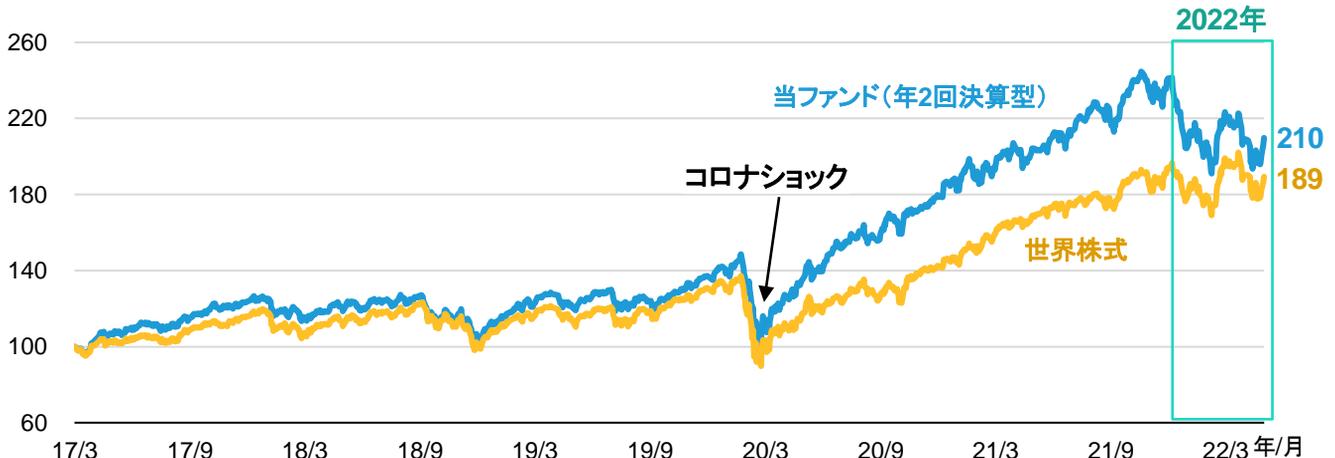
パフォーマンスの振り返り:

2022年年初来では株式市場調整の影響を受けるも、中長期では良好な運用実績

コロナショック以降の世界株式市場は、米国をはじめとした主要先進国による大規模な金融緩和や経済対策によりマクロ経済が回復基調となるなか、力強く上昇しました。2021年に入ると企業収益が予想以上に堅調に推移したことで、株価も高値を更新する展開が続きました。そのなかで当ファンドは、「気候」、「健康」、「エンパワメント」の分野において、長期的に持続的成長が期待できる“サステナブル投資テーマ”から魅力的な銘柄に厳選投資してきました。その結果、世界株式市場における物色対象が大きく変化するなかでも安定したりターンを創出し、世界株式を上回る堅調な運用実績となりました。

2022年年初から足もとまでの世界株式市場は、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げ姿勢に対する警戒感が台頭したことや、ロシアによるウクライナ侵攻などを受け、変動性の高い相場展開となりました。世界株式が調整する局面では当ファンドもその影響を受ける格好となり、基準価額は下落しました。3月中旬以降はやや持ち直したものの、世界的な景気減速懸念などが台頭し、再び軟調な推移となりました。

当ファンド(年2回決算型)のパフォーマンス* 期間: 2017年3月31日-2022年5月31日、日次ベース



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

*2017年3月31日を100として指数化。当ファンド(年2回決算型)のパフォーマンスは、分配金(課税前)再投資基準価額を基に計算しています。基準価額は、運用管理費用等(信託報酬)控除後のものです。分配金(課税前)再投資基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したものです。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。世界株式はMSCI ワールド・インデックス(配当込み、円ベース)。2017年4月に現体制での運用開始。出所:アライアンス・バーンスタイン(以下「AB」)。ABは、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。)



2つの外部評価機関のESG部門においてアワードを獲得:

年2回決算型の中長期における堅調な運用実績が、外部評価機関から高評価を獲得

当ファンド(年2回決算型)はこれまでの堅調な運用実績が評価され、今年に入り外部評価機関のESG部門において以下2つの賞を受賞しました。



R&Iファンド大賞 2022
投資信託 外国株式ESG 部門

『最優秀ファンド賞』

ESG部門2冠



モーニングスター アワード ファンドオブザイヤー 2021
ESG型 部門 (対象ファンド203本)

『優秀ファンド賞』

※受賞対象ファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年2回決算型)です。
※2つのアワードの詳細は8ページを参照ください。



足もとの株価調整で高まる組入銘柄の投資魅力度:

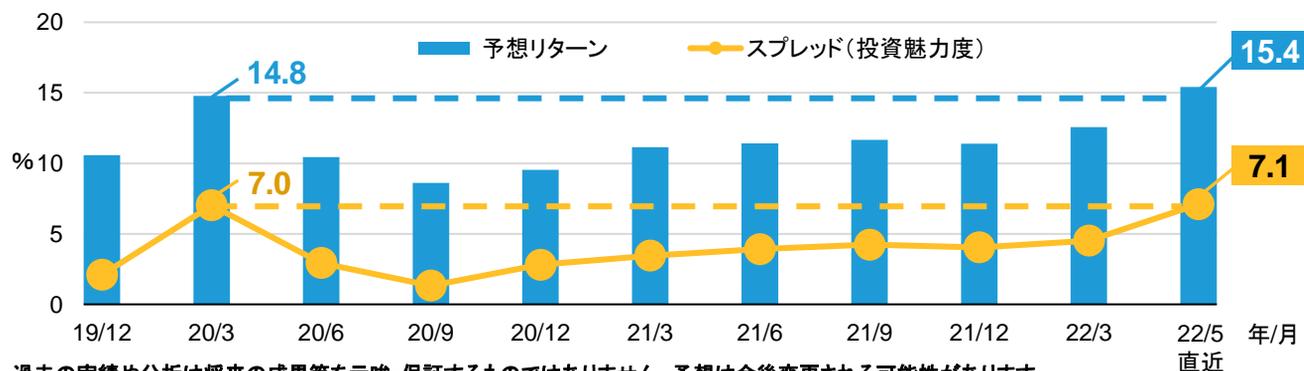
組入銘柄の投資魅力度は、足もとコロナショック時を上回る

当ファンドでは組入銘柄を選定する際、運用チームが独自に算出した銘柄の予想リターンと資本コストの差(スプレッド)を投資魅力度と捉え、スプレッドの大きい銘柄ほど投資魅力度が高いと判断して組み入れます。

過去のスプレッドの推移に目を向けると、2020年3月のコロナショック時において株式市場全体が調整した局面では、当ファンドの組入銘柄についても株価が下落したため、予想リターンが大きく上昇する形でスプレッドが拡大しました。

足もと、引き続き企業ファンダメンタルズの見通しは堅調なものの、株価は軟調に推移しているため、当ファンドの組入銘柄についても予想リターンが上昇しており、スプレッドも拡大しています。**2022年5月23日時点のスプレッドはコロナショック時を上回る高水準となっております、当ファンドの組入銘柄の投資魅力度は高まっています。**

当ファンドの運用戦略(代表口座)における予想リターンとスプレッドの推移*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

*期間: 2019年12月末-2022年5月23日、四半期ベース(ただし直近は2022年5月23日時点)。予想リターンは、今後5年間の長期キャッシュフロー予測に基づき算出された株価の予想リターン(年率)。資本コストは、株主・投資家が投資する資本に対して要求する最低利回り(期待収益率)。数値は当ファンドの運用戦略と同様の戦略で運用される代表口座のものを表示しており、当ファンドのものではありません。

出所:ブルームバーグ、AB



地政学リスク台頭により注目度が増すサステナブル投資テーマ：
今後の見通しと足もとで注目度が高まる当ファンドの組入銘柄

ロシアによるウクライナ侵攻により、世界各国で地政学リスクが高まっています。ロシアへの経済制裁によって、同国産の原油や天然ガス、また小麦などの供給懸念が台頭し、さらには国家・経済および食料安全保障の観点から、世界的に供給網や生産体制の見直しが活発化してきました。

そうしたなか、**食料、エネルギーおよび経済安全保障の強化にともない、関連する産業やチョークポイント(要衝)*となる企業への注目度が高まっています。**これらの企業は社会的課題の解決に貢献するビジネスを有しており、実際に、2022年1-3月期において当ファンドのパフォーマンスへの貢献度が高かった企業(ディーア、ベスタス・ウインド・システムズ、ASMLホールディング)でもあります。

今後の世界情勢を鑑みると、**持続的社会的達成を目指すビジネスは、消費者、取引先、投資家などに支持されるだけでなく、国家・経済安全保障の観点からも追い風が吹くと予想されます。**したがって、今後も“サステナブル投資テーマ”に基づくビジネスに取り組む企業は、継続的な需要の高まりを受けて長期にわたり力強い成長機会を有するとみています。

ディーア 米国／資本財・サービス

成長領域とサステナブル投資テーマ

足もとの注目ポイント！

健康



食の安全と
クリーンな水

**食料
安全保障**

小麦輸出大国であるロシアおよびウクライナからの輸出減少懸念により、食料安全保障が喫緊の課題となるなか、食料安定供給に資する農業用機器の製造・販売する同社への注目度は高まるとみている

株価の推移**



企業概要と運用チームの見方

- ・世界各国で農業用機械を販売するメーカー
- ・同社の製品は農業の効率化に加え、燃料および肥料の使用削減や、機械の排出CO2削減を可能にするなど環境に配慮された製品を提供
- ・新興国では農業の生産性向上を目的とした機械導入需要、先進国では就農者の減少や高齢化に伴う作業自動化へのニーズが存在するため今後の成長に期待

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。*軍事・交通・産業上、重要な地点。**2020年3月31日-2022年5月31日、日次ベース、米ドルベース、2020年3月末を100として指数化。

出所:ブルームバーグ、AB

ベスタス・ウインド・システムズ デンマーク／資本財・サービス

成長領域とサステナブル投資テーマ

気候  クリーン・エネルギー

足もとの注目ポイント！

エネルギー
安全保障

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、特に欧州ではロシア産原油や天然ガスへの依存低下が急務となり、世界的にエネルギー安全保障が喫緊の課題となるなか、再生可能エネルギーに対する投資がさらに加速する可能性

株価の推移*



企業概要と運用チームの見方

- ・世界87カ国に導入。累積導入ペースで世界シェアトップ
- ・風力発電は、発電コストの優位性、貯蔵技術の進化や政府支援等を背景に、急速に普及が進む目今の段階
- ・特にコスト競争力は今後より一層高まると予想され、技術や運営面で優位性を有する同社は、その恩恵を享受する可能性を見込む

ASMLホールディング オランダ／情報技術

成長領域とサステナブル投資テーマ

エンパワーメント  情報通信技術

足もとの注目ポイント！

経済
安全保障

ロシア・ウクライナ紛争はグローバル化に終止符を打つ可能性があり、経済安全保障上重要な半導体産業に各国が注力するなか、最先端の半導体製造に欠かせない露光装置を製造、かつその市場をほぼ独占している同社への需要はかつてないものになる見込み

株価の推移*



企業概要と運用チームの見方

- ・半導体露光装置において世界で圧倒的シェアを有する半導体製造装置メーカー
- ・半導体を微細化するためのリソグラフィ技術を搭載したEUV(極端紫外線)の露光装置を製造しており、同社がシェアを独占
- ・同社製品が無ければ、半導体の高性能化や、半導体を利用する最終製品の高機能化は実現不可能と言える

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。* 2020年3月31日-2022年5月31日、日次ベース、米ドルベース、2020年3月末を100として指数化。

出所:ブルームバーグ、AB

当ファンドの主なリスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。一般に新興国市場は、市場規模、法制度、インフラなどが限定的なこと、価格変動性が高いこと、決済の効率性が低いことなどから、リスクが高くなります。

流動性リスク

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があり、結果として損失を被るリスクがあります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

収益分配

■年2回決算型

原則として、毎決算時(毎年1月20日および7月20日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- 分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

■予想分配金提示型

原則として、毎決算時(毎月20日。休業日の場合は翌営業日)に以下の方針に基づき分配します。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

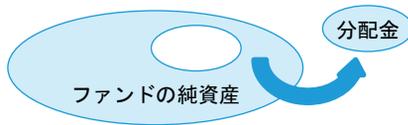
- 毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※「自動けいぞく投資コース」の場合、収益分配金は税引後再投資されます。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

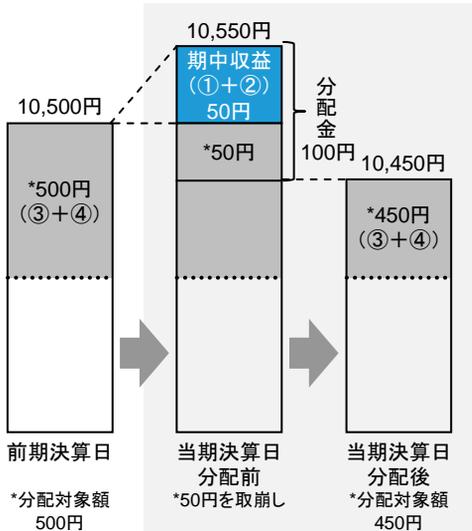
ファンドで分配金が
支払われるイメージ



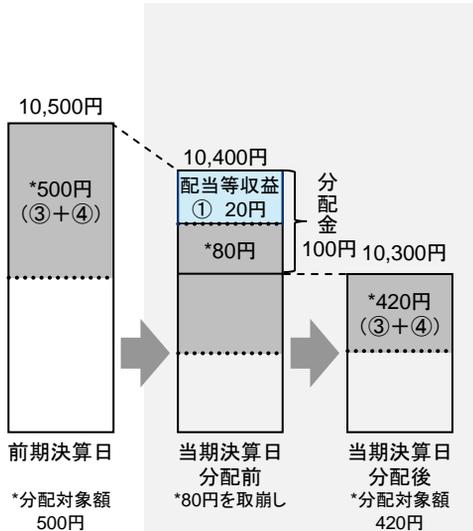
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)

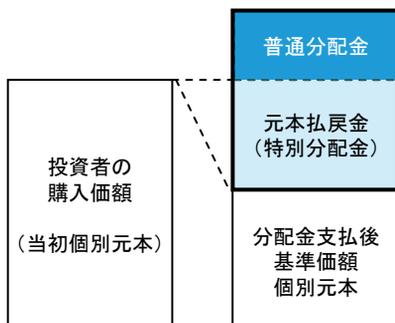


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

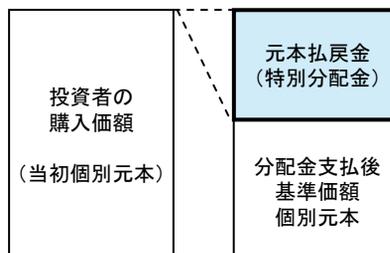
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に
応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率(3.3% (税抜3.0%)を上限とします。)を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

<投資者が信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理 費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年1.705%(税抜年1.55%) の率を乗じて得た額とします。 ※ ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または 信託終了のときに、信託財産中から支払われます。 ※ マザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。
その他の 費用・ 手数料	<p>■年2回決算型 金融商品等の売買委託手数料／監査費用／外貨建資産の保管等に要する費用／信託 財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等 ※ 投資者の皆様様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動する ため、事前に料率・上限額等を表示できません。</p> <p>■予想分配金提示型 金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する 租税／信託事務の処理に要する諸費用等 ※ 投資者の皆様様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動する ため、事前に料率・上限額等を表示できません。 監査費用／法定書類関係費用／計理業務関係費用／受益権の管理事務に係る費用等 ※ 純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合が あります(これらに該当する業務を委託する場合は、その委託費用を含みます。)。かかる諸費用は、 日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託 財産中から委託会社に対して支払われます。</p>

当資料のご利用にあたっての留意事項

- 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に記載された意見・見通しは作成時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

販売会社

販売会社は、受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付け、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金、一部解約金の支払いの取扱い等を行います。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	●		●	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	●	●	●	●
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	●		●	●
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	●			●
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	●	●	●	●
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第62号	●			●
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	●			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	●			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	●		●	
野村證券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	●	●	●	●
PWM 日本証券株式会社**	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	●			●
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	●	●		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	●			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	●		●	
マネックス証券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	●	●	●	●
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	●	●	●	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	●	●	●	●
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	●	●	●	●

※取次販売会社も含まれます。

(50音順)

※販売会社によっては(年2回決算型)または(予想分配金提示型)のいずれか一方のみのお取扱いとなる場合があります。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

* 受益権の募集・販売の取扱いを停止しています。

** 定時定額で既にご購入いただいているお客様を除く、新規の受益権の募集・販売の取扱いを停止しています。

■設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

R&Iファンド大賞2022について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”について

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。ESG型部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド203本の中から選考されました。